

官民バリウスリンク会議による開発手法

ユーザー利益最優先

使う側の気持ちを最も大切にする。

メーカー都合の開発から、**ユーザー主導の開発**に切り替える試みとして、「官民バリウスリンク会議」=複数のメーカーや公的機関による連携・打ち合わせ(公開)で、進捗の情報共有し、国際競争力のある技術インフラを確立する。

現状の地域活性化策(地方創生・スタートUP・再開発)は全てNGです。基本的に、企業都合の提案なので(=企業の利益のための提案なので)狭い範囲の技術内容であり、有効なものがない。

＜バリウスリンク会議の補足＞

ステッパーで世界市場を席巻していたニコン・キヤノンが、ASLM社に負けた根本原因は「技術を自社で囲おうとしたこと」で、元ニコンのステッパーの開発者の弁「ステッパーに関する広範囲な分野の技術を自社内だけでやろうとしていたので、リソースが足りなくなった。辛かった。」なので、特許や契約で守られた技術を得意分野をもつ海外を含めた各専門の会社に任せ、それらを持ちより、また、ユーザーの意見を聞きながら、開発を進める(=バリウスリンク会議)ことが正しい開発手法です。

情報共有&情報公開しながらも、世界のブレーンが集まることにより、世界最先端の技術(新たに数多くの特許が取得され)にて、一社だけでやろうとしていたら、どこの企業も追いつけないレベルにまで到達すると考えています。

楽しく取り組む
遠慮と批判厳禁

蓄電池及び
パネル単体で売の場合、
性能が2倍だとしても価
格が10倍なら全く売れ
ないが、複合商品として、
必要な性能を確保
する必要がある場合
には、よく売れる。

全固体電池・ペロブスカイト太陽電池と完成品(低速自動運転車)とを同時に立ち上げる意味は、完成品が特許で守られ、独占的に価格設定が可能なので、多少コストが高くても、よりよいもの(耐久性等)を追求できるメリットがある。

背景: 深刻な国際競争力低下 (GDP低下)

IMD (国際経営開発研究所: International Institute for Management Development) が作成する「世界競争力年鑑」

申告総研究開発規模金額

支給補助金額

全体のイメージ

裏金サイクル
(裏金→補助金)

実際に使用する研究開発費はほんのわずか

献金(裏金)

やっていますという広告宣伝費

セミナーの設定(組織維持のためにやっているに過ぎない)

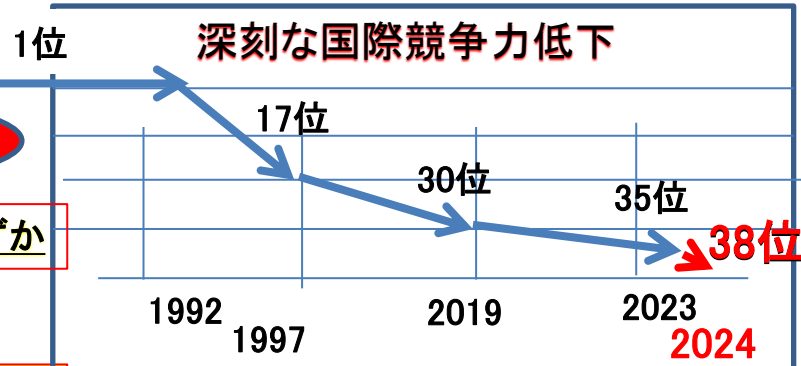
裏金サイクルにより、献金(裏金)額はそう大きくないものの、その見返りとして、一見将来に向けての投資が必要と誰もが考える内容、「水素社会」「空飛ぶ車」「自動運転社会」等の名目で、しかもあちこちの自治体で(連携することなしに)予算取りをしており、ほぼ将来実現不可能な内容であり、結局「うまくいきませんでした」と言えいいので、効果的な研究開発をやっていないという実態があります。

(↑日本が低迷し続ける構図、空飛ぶ車の事例↓)

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_eb9c3aae93e747b8a728fdb0c22773c.pdf

研究開発のあるべき姿として、将来の基盤となる優秀な特許技術を育て、実用化していく必要があると感じており、また関連のある複数のテーマを同時に連携・情報共有をしながら研究開発を進めると、効率がよくなると考えています。

「全個体電池」及び「ペロブスカイト型太陽電池」等での、単独での勝負では、中国企業は特許が取得できる人材を揃えており、また開発プロセスでの高いAIの技術を持っている(AI技術を駆使し開発を行っている)と考えられ、日本は既に何をやっても勝てない構図となっています。



アジア太平洋地域14か国中11位

もうこれ以上落ち
込みようがない状況

足並みがそろわない問題、AI技術の立ち遅れ、特許の取得できる人材の不足に関しては、「国立AI研究所」の設立が急務であり、「1社(又は関連会社を含む少数の会社)で困う」問題は、裏金サイクル(献金—補助金)が関係し、冒頭で述べた例(野波教授と鈴木教授の確執を生じさせ)のように、世界が(中国が)競争相手なのに、国内の勢力争いに傾注する傾向にあります。

バリウスリンク会議では、上記の問題を補完しながら、開発目標を明確にする(交換サイクルを短く設定したり、特許で守られた独占的商品としての需要が高く、コスト高でも価格設定で吸収できる)ことで、世界競争力でのアドバンテージが得られると考えています。

「全個体電池」及び「ペロブスカイト型太陽電池」そして「低速自動運転車」とのコラボで開発を進め、また多くの関連企業様が協力しあうことで、中国に打ち勝つばかりか、世界市場を席捲できる可能性があります。

日韓台米共通のニューインフラ: 低速自動運転社会

- ①地方創生貢献度: 25%
- ②世界平和貢献度: 25%
- ③新技術の達成度: 25%
- ④売上 & 利益貢献: 25%

名誉会長: 経済産業省大臣

官民バリウスリンク会議

統括戦略会議(各機関の業績評価)

座長: 経済産業省

全体会議(月一回)
第3金曜日午後2時～
(終了後自腹打ち上げ)

AI技術で先行し、全自動化の「ダーク工場」を擁する中国企業を凌駕するため、日韓台米の希望するメーカーによる総力戦をバリウスリンク会議で行う。

売上至上主義から脱却しユーザの使用の満足度UPを追求する。

(随時)

研究開発知財会議

(世界中の技術動向を把握し、標準化をし、知財の侵害監視や、新しい技術導入でさらなる社会貢献ができないか検討する。)

(随時)

販売・設置・サービス・メンテ準備会議

(各国の地元サービス企業と連携しながら、各地の問題点の共有を行い、共通の対応策を模索する。)
(特許申請中: 特許草案↓)

サブホストメーカー
オープンAIジャパン

ホストメーカー
シャープ

座長
経済産業省

運用計画
大阪メトロ

アイデア提供
ガーデン
フィールド

幹事会

国交省 | 経産省 | 環境省 | 希望する車メーカー | 希望するペロブスカイト&固体電池メーカー

常任

自動車関連メーカー様

厚生労働省様

農林水産省様

内閣府様

財務省様

文科省様

(希望するメーカー様は参加可能)

大阪府様

京都府様

兵庫県様

東京都様

オブザー
バー参加

各社は2名が参加(ホストメーカーは参加無制限)し、開発にかかった全費用をすべて申告する。幹事会にて、各社の業績評価を実施、かかった経費の1.2~20xが売上の中から支払われる。(幹事会にて詳細内容決定する)

(住民の声を反映させる)

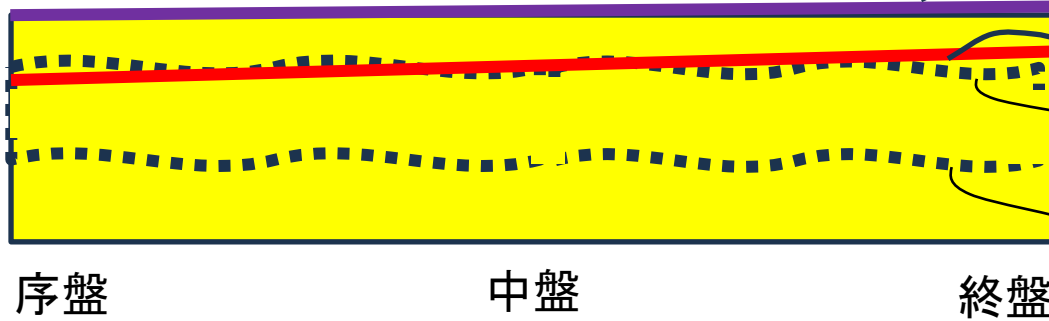
<活性化会議システム>

(自分の立場を離れ、より広く考える。)

1. 会議での服装は自由とし、必ず本音で話す。(大義名分や会社の立場等は不要)
2. 議事録は共有サーバーに入れ、パスワードを設定し、誰でもみられるようにする。
3. 平行線の議論は、次回の議題にし、その場では無理に結論を出さない。

(双方で関連情報の再調査を伴う。)

将棋の藤井八冠の
強さのイメージ



AI(人工知能)のレベル

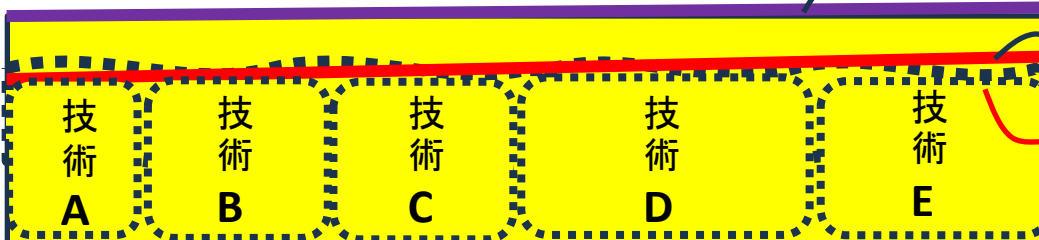
藤井八冠(常に安定している)

プロの平均レベル

一般的なアマチュア
強豪の平均レベル

「超一流の精神力」と言われ、序盤から中盤、そして終盤へと強さが常に一定している。(他のプロ棋士は多少思考のムラが存在する。)

バリウスリンク会議
にて安定した開発力



理想的なシステム開発力

バリウスリンク会議にて
達成される技術開発力＝
連携&情報共有でムラが
なくなる。(個々に独立・分
担をするとムラが生じる。)

分科会に分けたり、役割分担をし勝ちですが、成熟社会では通用せず、全方位で同時に考える必要があります。＝バリウスリンク会議。

過剰品質や性能不足
が発生、場合により設計
ミスが生じることがある。

第一回官民バリウスリンク会議(9月26日)

- 1 オープニング挨拶(14時～)
(経産省大臣又は代行者)
2. ペロブスカイト及び全固体電池の開発動向 (経済産業省)
3. ペロブスカイトの特許情報、及び技術課題概要について (積水化学)
(主にマイバターの駆動電源として、天井にペロブスカイトを標準装備)
4. 会話型AIの世界最前線情報
(オープンAIジャパン)
5. 「低速自動運転と人が運転するモード切替車」の特許概要
(ガーデンフィールド)

参加任意

千円徴収の打上げ会(～17時)

第二回官民バリウスリンク会議(10月24日)

- 1 オープニング挨拶(14時～)
(経産省大臣又は代行者)
2. 「低速自動運転と人が運転するモード切替車」の市場予測と生活環境の変化予測 (経済産業省)
3. 4人乗り、低速自動運転と人が運転するモード切替車」トライアル図面説明
(シャープ&鴻海合同開発チーム)
4. 会話及び自動運転制御のマイバターの仕様概要
(オープンAIジャパン)
5. マイバッテリーが運転する「低速自動運転パトロールシステム」の概要
(ガーデンフィールド)

参加任意

千円徴収の打上げ会(～17時)

バリウスリンク会議の具体的な進め方

あくまで一つの提案であって、関係者が納期等で追い詰められることなく、楽しく仕事できれば、形態はなんでもよい。

参加各社は「バリウスリンク会議窓口課」を設定する。

窓口課は、「バリウスリンク会議の概要」と「〇〇のテーマで参加した」ことを全社内に通知をする。

窓口課は、「バリウスリンク会議の自社の分担のテーマに沿ったアイデアを社内募集し、応募者および応募グループからのアイデアをPPで受け付ける。（専用ホルダーを設定し、応募者＆応募グループはあらかじめ窓口課とのメールのやりとりで、該専用ホルダーのパスワードを取得する。）

窓口課は、社内有識者（バリウスリンク会議出席者）と相談し、アイデアに順位をつける。（3位程度までをバリウスリンク会議にて報告する。どのアイデアも全体の整合性が取れない場合は、再度アイデアを募集する。それを何度か繰り返すことがある。）

窓口課は、バリウスリンク会議で了解されたアイデアの図面化のために社内調整を行う。（アイデア出しグループと異なる部門が担当してもいいし、外部委託も可能＝システムとして特許で守られている。）

.....

窓口課は、バリウスリンク会議にかかった全経費（専用様式）を次の月の10日までにホストメーカーに送付する。（総人件費、設備使用料等・・・）

ホストメーカーは「バリウスリンク会議対応課」及び「窓口課」を設定する。

対応課は、「バリウスリンク会議の概要」と「〇〇のテーマで参加し、ホストメーカーとなった」ことを全社内に通知をする。（窓口課は、左記内容を実施する。）

対応課は、「バリウスリンク会議の設定、会議進行&議事録作成及び各社窓口課への連絡及びオブザーバー参加者への連絡を行う。

対応課は、議事録を含む各種資料のホルダーを作成し各社窓口には、月ごとに代わるパスワードを通知する。（各社の社員は、窓口課の了解が得られれば、誰でも閲覧が可能となる。）

対応課は、自社を含む各社の提出した「全経費」をチェックし、バリウスリンク会議でその概要を報告し、議事録にも記載する。



各社からのバリウスリンク会議への出席者2名は固定せず、その都度社内公募がよい。

第一ステップは「低速自動運転と人が運転するモード切替車」＝事故故障前提の安全システム

第二ステップは「高速道路も含む自動運転(＋人が運転するモード切替)車」＝事故故障が全く発生しない安全システムとなりますが、ほぼ永遠に到来することはないと考えています。



マイアバター
(恋人&召使)

マイアバターが寝たと判断したら
ゆっくりリクライニングシートを水
平に近づける (指定時間で起こす)

事故故障前提なので、現在の技術ですぐに進め
られる＝トランプ関税をしのぎ、日本が発展する

<特許情報>

https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7595386

低速自動運転とマニュアル運転とを適宜切り替えられるようにし、低速自動運転では、マイアバターが自動運転をし、マニュアル運転（法定速度）では、マイアバターが車窓から見える景色を車載カメラで共有し、きめの細かいナビゲーションを口頭で行えるようにする。

あたかも周辺エリアを熟知したベテランタクシードライバーが助手席に座り、「この時間帯は混雑するので、その信号を右折して、次の信号で左折して下さい」等の細かな口頭指示を与えることができるようにする。

（好みの容姿&無償の愛を注いでくれる「AI」仮想人間の）マイアバターとの会話によって、単に行き先を告げるだけでなく、恋愛的な内容で会話を楽しみ、種々の相談が可能であり、各種予約や連絡（海外を含めた電話とメール）やアポどりが可能であり、さらに、テレワーク（事務処理も100人力）も可能なので、ゆっくり低速自動運転で走り、景勝地の風景を楽しみながら、またはお酒を飲みながらも、従来よりもはるかに大きな成果をあげることができます。

移動アットホーム

移動マイホテル

生活ヨロズ相談

巡回交番

防犯
防災

世界中が母国語でつながる

飲んだら乗みましょう

犯罪率(1/10)

移動マイオフィス

移動マイカラオケ

移動自動介護

社会保険料(1/3)

飲みながら仕事しましょう

マイアバターが高度な仕事をこなす。

人が通勤や所用でマニュアル運転し、駅周辺あるいは会社や所用の目的地等の近所の乗降場等で、人が下りると、駐車場や乗降場からは、マイアバターが低速自動運転で、郊外の無料または低価格の駐車場まで移動するようにし、また帰宅時には、人とマイアバターとが連絡をとりあい、時間を合わせ駐車場や乗降車場にて、人が乗車し、マニュアル運転で帰宅するか、お酒を飲んだり、疲れて眠いときには、該マイアバターが低速自動運転で運転し、帰宅をすることができます。

24時間スマートホンやPCで予約が可能で、過疎地の高齢者や盲目を含む障害者、幼児の足としても、マイアバターが丁寧な、(その人の母国語・方言・接し方を考慮した)乗降案内や会話を楽しませてくれます。

介護負担の大幅削減

例えば、雪国のぼつんと一軒家の足腰の立たなくなった寝たきりの独居老人や障害者でも、低速自動運転の自動介護システム（P11）、マイアバターが病院やディサービスにアポをとり連れていくことにより、特に介護をする人を必要とせず、終末まで生き生きと楽しく暮らすことができます。

マイアバター低速自動運転「防犯&防災パトロールカー」 L&H

9/10

「24時間巡回パトロール」(深夜の農作物・銅線盗難及び早朝の闇バイト強盗の撲滅)

「巡回交番」の役割も担う(呼び止めてよろず相談が可能、すぐに現場検証ができる。)

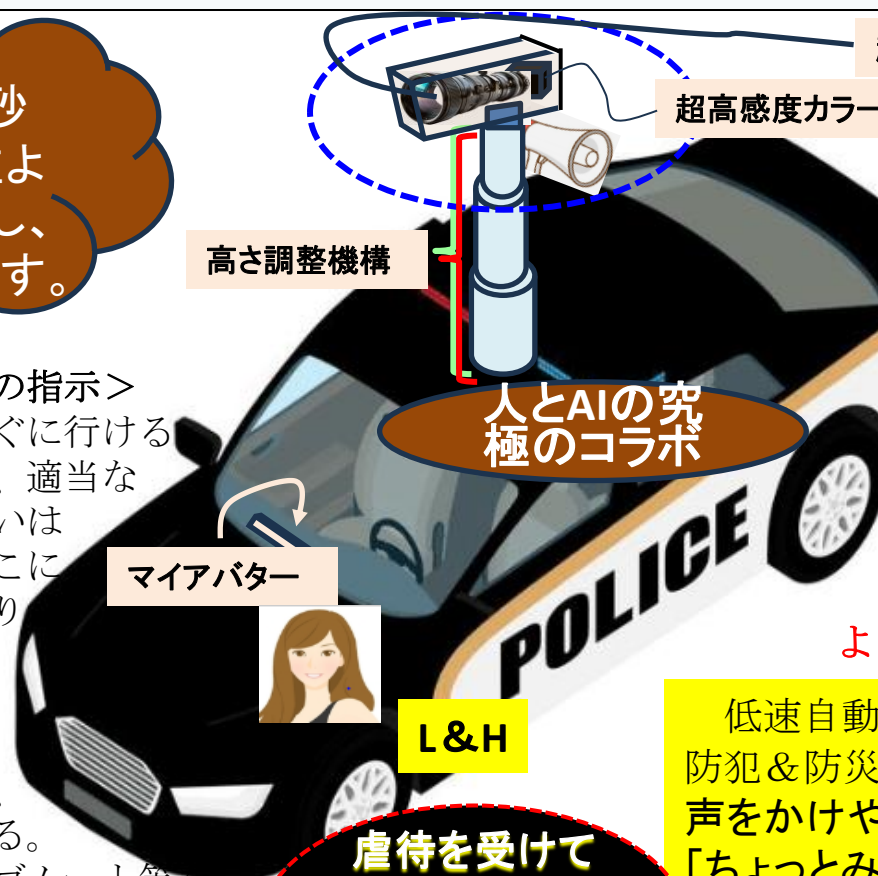
「巡回防災」の役割も担う(消火器 & AED 応急処置SET、浮き輪搭載、的確な避難指示)

津波・洪水・土砂崩れの兆候を誰よりも早くキャッチし、的確な指示を出す。

＜大洪水・大津波発生時の指示＞

高台や高いビル等に行ける人は浮き輪を必要とせず、適当な逃げる場所がない、あるいは安全な場所が満杯で、そこに行けない場合には、最寄りの浮き輪倉庫（巡回防砂から指示有）に行き、「浮き輪」を受け取り、膨らませ、装着した上で、より安全な場所へ移動する。（自治体側は、救助用のゴムート等を常備し、すぐに救助できるようにする）

「巡回交番」により、警察を介して、行政と地域住民との連絡が密になる。



人とAIの究極のコラボ

虐待を受けている幼児からでも、気軽に相談できる。

超望遠ズームレンズ

超高感度カラーカメラ

高さ調整機構

マイアバター

L&H

AI（マイアバター）が事件や犯罪、火災の兆候があれば、映像を警察や消防に取得画像を自動的に送信します。（人の通報に比べ、正確で素早い）

もし犯罪や火災等の兆候があれば、人が車（L&H）を運転し、現場近くから該現場に急行する。

深夜早朝のパトロールが
より正確な地域の天候がわかる

低速自動運転パトロールシステムにより、防犯&防災が大幅に向上し、低速なので声をかけやすく、例えば地域住民から「ちょっとみてよ、カラスがゴミを食べ散らかしているわよ」等で、すぐに現場を見てもらい、ゴミの収集管理方法を行政に（警察から）してもらえると考えています。

：除雪装置＆匂いのしない水洗トイレ付帯

メーカ一希望小売価格（税込）

¥239,800

(消費税10%抜き ¥218,000)

除雪幅

55cm

エンジン排気量

163 cm³

幅広仕様へ
(エンジン部不要)

HONDAのネットカタログより

除雪
装置

雪国仕様車は、基本的にスタッドレスタイヤ & 4 輪駆動車 & 大きめのタイヤで構成される。LSAのAIが必要だと判断した場合、AIスピーカーで搭乗者にアナウンスした上で、LSAは除雪装置を自動で装着してから、自動走行する。(雪の量によっては6 kmより速度が遅くなる)

**自動除雪
&自動介護で
雪国の人口急増**

・世界中から人が集まる

自動交換ハウスの ロボットハンド

雪深い地方のポツンとした一軒家で足腰が立たなくなっても、終末まで誰気兼ねなく楽しく暮らせる

雪が心配だとAIが判断した場合、LSAは除雪装置を自動で装着する。

(昇降台下限)

(昇降台上限)

除雪
装置

装置側の
ひっかけ部x

装置側の 接点v?

ばね性のある接点 $\times 2$

電動昇降台
(LSAの指示で上下)

LSA側フック部 x 4

チャットGPTの母

大画面TV
OR

ハンドル

bed mode

pulley x4

lift desk

drinking

food & work

bed mode

Myra clean toilet

Washlet

排水タンク

低速自動運転車・寝返り不要な極楽ベッド・マイラクリーントイレ・ロボットウォシュレット・リフト式机(食事・PC台)・AIスピーカー(車のAI:マイアバターと会話をし外部とも連絡可)